



上尾の児

埼玉県立上尾特別支援学校

平成28年12月26日

「ことばのちから」

教頭 山本 達也

寒い冬、**温まる**エピソードを二つご紹介いたします。一つ目は、先日の『土曜参観日』の出来事です。保護者の皆様がお帰りになる頃、本校の**いかつい？**教頭二人が校門でお帰りになる皆様をお見送りしていたときの話です。その日は雲一つない晴れやかな日でした。ただ北風が吹き、外に立っている身には大変、風を冷たく感じていたところでした。あまりの風の冷たさについて、「寒い！」と口にしてしまいそうなときでした。一組の親子の方（お母さんと年中さんくらいの男の子）が校門を出るときに、「さよなら、ありがとうございます。」と声をおかけすると、お母さんから「ありがとうございます。」とお返事をいただきました。その後を少し遅れて通り過ぎた男の子が、わざわざ戻ってきて「さむいなか、たいへんですねえ。がんばってください。」と声をかけてくれました。その言葉を聞いて**いかつい？**教頭二人は一瞬にして寒さが吹っ飛び、身も心もとても暖かくなりました。（感激で涙が出そうでした！元気をくれてありがとう！！）

二つ目は、『温泉マーク』についてです。右のマークはご存じの『温泉』を表すマークです。群馬県安中市にある磯部温泉は江戸時代前期の文書に温泉の位置を示す温泉マークそっくりの絵図が描かれていたことから、『温泉マーク』発祥の地といわれています。最近この『温泉マーク』を2020年の東京五輪・パラリンピックに向けて、外国人にも分かりやすくし、誤解を招かないよう、国際規格（右の図下）に変更しようと経済通産省が案を出したというニュースが話題になっていました。おなじみの『温泉マーク』は外国人には「コーヒー」「スープ」など暖かい飲み物や料理、それを提供する店などと勘違いされる恐れがあるということです。幸い？おなじみの『温泉マーク』は併記等することで存続する見込みになるようですが、これらの図記号（ピクトグラム）は言葉によらない、目で見るだけで案内を可能とするものです。言わば『視覚支援』ともいえるでしょう。私たちは普段から意外とこの『視覚支援』のお世話になっています。たとえば、見知らぬところでトイレを探す。ドライブに出かけて駐車場を探す。また、車を停めるとき白線の枠がなかったらどうでしょう？このように生活の至る場面で『視覚支援』を活用しています。『視覚支援』は音声による『ことば』ではありませんが、見通しや安心のために大きな意味を持っています。これは障がいのある子どもたちにとっても、生活や学習する上で、とても重要な手がかりとなるものです。



音声による『ことば』は流れて消えてしまいましたが、時には人に大きな感動を与え、人の心に訴えかけいつまでも残ります。また、『視覚支援』は音声による『ことば』ではありませんが、目に見え、そこにあることで人に見通しを持たせ、不安を取り除き安心感を与えます。どちらもコミュニケーションの手段としては大切なものです。私たち特別支援学校の教員は音声による『ことば』だけでなく、『視覚支援』という手段を活用して子どもたちにわかりやすく、安心感を与える言語環境・学習環境をもっと整えなくてはいけないのではないのでしょうか。この二つのエピソードからそんなことを学びました。

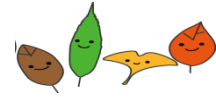
下校時のお迎えに関するお願い

後期よりスクールバス、送迎車、自主通学生のスムーズな下校を目指して、下校時刻に北側の門を開錠しております。教職員が誘導いたしますので、お車でお迎えに来られた際は、正門から入った後、北門より出ていただきますようお願いいたします。北門を開けていない時（教職員の誘導がない時）は、通常どおり正門をご利用ください。御理解と御協力をお願いします。





第37回ゆりの木祭



今年度は『ひろげよう つながろう あげおの輪』のテーマのもと、11月11日（土）12日（日）にゆりの木祭が行われました。各学年の作品展示や小低・小高・中・高3のステージ発表、高1・高2の企画模擬店、中・高等部の作業製品頒布、どれも児童生徒の学習の成果を発表することができました。両日合わせて179家庭の皆様と178名のお客様にご来校いただき、本校からおおきな輪がひろがったように思います。

P T A作品展示や制服・ジャージ販売、休憩室や受付等のご協力をいただき、P T A役員の方々ならびにお手伝いをいただいた皆様に感謝申し上げます。



『小学部』 低学年は『すごいぞ！やさいパワー！』のステージ発表を行いました。チーズさんがねずみに食べられないように、にんじん、なす、きゅうり役の2年生はチーズの周りにいろいろな箱を積み、トマト役の1年生は『ガチャガチャバンド』の演奏をしました。そしてたまねぎ、キャベツ役の3年生のリボンダンス（辛

い汁技）や布掛け（葉巻き技）でねずみさんは逃げて行き、よかったよかった！最後にテーマ曲を歌うみんなの笑顔が輝いていました。

高学年は『ズートピア～勇敢なうさぎの物語～』のステージ発表を行いました。4年生きつねは、ハードルジャンプと「ごむのわのびろ」のダンスで元気に遊ぶ様子を表現しました。5年生しろくまは「かぜになりたい」の曲に合わせ、鼓笛隊に挑戦しました。6年生うさぎは、それぞれ得意なことを登場シーンで発表し、最後はモンタージュと網を落として敵を捕まえることができました。これまでの練習の成果を発揮した発表になりました。



『中学部』 中学部は「シンドバッド～自分を信じて仲間とともに～」をテーマに発表を行いました。仲間とともに練習だけでなく、背景画作りや一部の道具作りも行い、物語を創り上げました。本番では、少し緊張しながらも全員が堂々と練習の成果を披露することができました。学年を超えた活動を通して深まった仲間意識や、ステージ発表の成功で付いた自信を胸に、これからの日々の学習も

がんばっていきます。拍手や歓声ありがとうございました。

『高等部』 1年生はポケモンをモチーフにしたゲームコーナー『ポケモンGo o!』を企画しました。「ストラックアウト」と「輪投げ」、「ボウリング」と「ポケモン釣り」を2つの部屋にセッティングしました。たくさんポケモンを飾ったり、顔出しパネルやオブジェを廊下に置いてゲームを待っている人も楽しめるように工夫



しました。接客はゲームを盛り上げつつ、小さい子には優しく丁寧にする等、高校生らしい態度で行うことができました。

2年生はディズニーの不思議の国のアリスより「ようこそ、アリスのティーパーティーへ」の場面を再現した駄菓子屋さんを行いました。2年生全員が力を合わせて装飾や小物を製作し、ワクワクするような空間を創り上げることができました。当日は、それぞれ好きなキャラクターに扮し、レジや宣伝、お菓子の補充やお客さんの誘導などを頑張りました。ご来店していただきました皆様、本当にありがとうございました。

3年生は、沖縄で見た・感じた思い出を、歌や沖縄に伝わるエイサーという踊りなどで発表しました。今回は「ゆりまーる沖縄2016～笑顔と絆～」というタイトルを掲げ、個々が頑張るだけではなく、生徒同士みんな協力してステージを完成させました。夏休み明けから積み重ねた練習の成果を存分に発揮することができ、お客様から頂いた拍手も相まって忘れられない経験となりました。

